

南アフリカ共和国の世界遺産

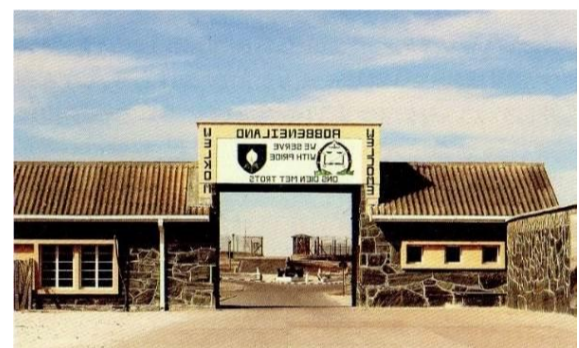


①ロベン島

[文化遺産/1999年登録]

〈人種差別の歴史を語る負の遺産〉

反アパルトヘイト運動の黒人活動家を収監し、ハンセン病患者の隔離施設なども置かれた歴史があります。現在、博物館となっています。



②南アフリカの人類化石遺跡群

[文化遺産/1999年登録、2005年範囲拡大/2013年名称変更]

〈人類発祥の地と呼ばれる世界遺産〉

化石から人類の進化の歴史を知ることができます。かつて、「スタルクフォンテイン、スワルトクランス、クロムドライおよび周辺地域の人類化石遺跡群」と呼ばれていました。

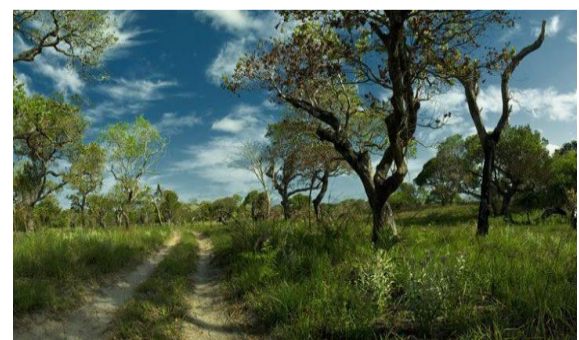


③イシマンガリソ湿地公園

[自然遺産/1999年登録/2007年名称変更]

〈13の保護区が集合し広大な湿地公園〉

希少種であるシロサイも確認され、アフリカでサングが見られる南端となっています。かつて、「グレーター・セント・ルシア湿地公園」と呼ばれていました。



④マロティ - ドラーケンスベルグ公園

[複合遺産/2000年登録、2013年範囲拡大]

〈自然・文化両面が評価された景勝地〉

貴重な動植物が生息しており、ラムサール条約登録湿地になっています。ブッシュマンが4000年にわたり描いた岩壁画も残っています。



⑤マプングブエの文化的景観

[文化遺産/2003年登録]

〈交易で繁栄したマプングブエ王国の都市〉

14世紀末、急激な気候変動により衰退し、1890年代に金製のサイが発見されるまで、土地は放棄されたままでした。

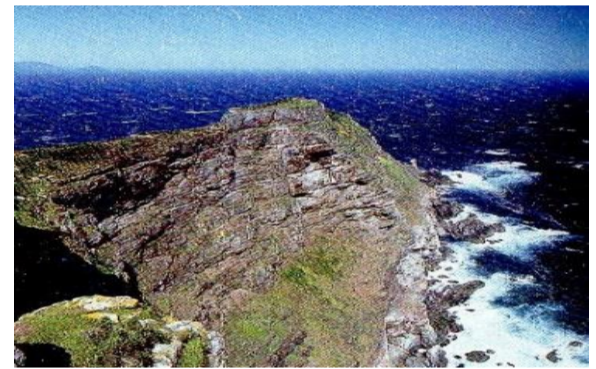


⑥ケープ植物区保護地域群

[自然遺産/2004年登録、2015年範囲拡大]

〈固有植物が自生するホットスポット〉

山火事が発生しやすいことから、灌木植生地域フィンボスの植物は高温のもとで発芽や種子の散布を行う特性があります。8の保護区からなっています。



⑦フレーデフォート・ドーム

[自然遺産/2005年登録]

〈世界最古にして最大、最深の隕石痕〉

約20億2300万年前に直径10~12kmの小惑星が秒速約20kmで衝突し形成されました。隕石痕の最大半径は約190kmとなっています。

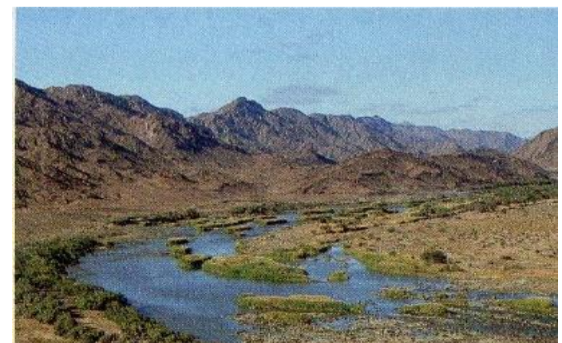


⑧リフタースフェルドの文化的及び植物学的景観

[文化遺産/2007年登録]

〈ナマ人の半遊牧民生活の文化的景観〉

山がちな砂漠地帯ですが、多様な動植物が生息しています。ナマ人の土地でしたが、1991年に国立公園となりました。



〈参考文献〉

・世界遺産検定事務局『すべてわかる世界遺産大辞典<上>』加藤文明社
・世界遺産オンラインガイド <https://worldheritagesite.xyz/africa/s-africa/>

制作：中京大学2016年度博物館実習生 富田 監修：野外博物民族館リトルワールド